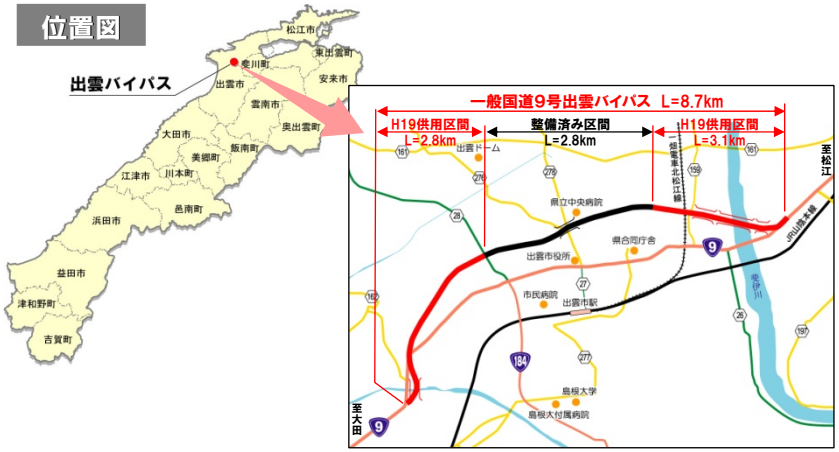
出雲バイパスの開通により、新たな市街地ゾーンを形成

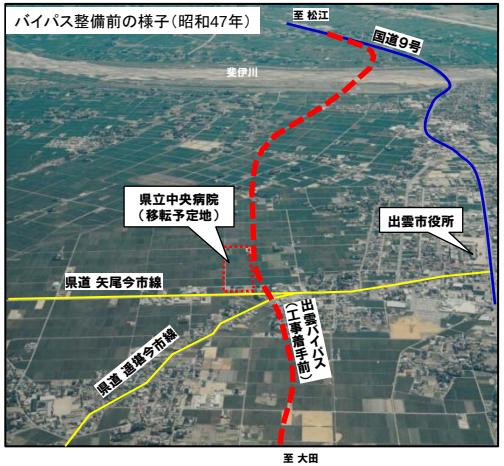
・出雲バイパス沿線の居住人口が20年間で約1.3倍、商業施設も10年間で約2.6倍に増加。
・出雲バイパス整備の進捗とともに、新たな市街地ゾーンを形成。

位置図



●新たな市街地ゾーンを形成

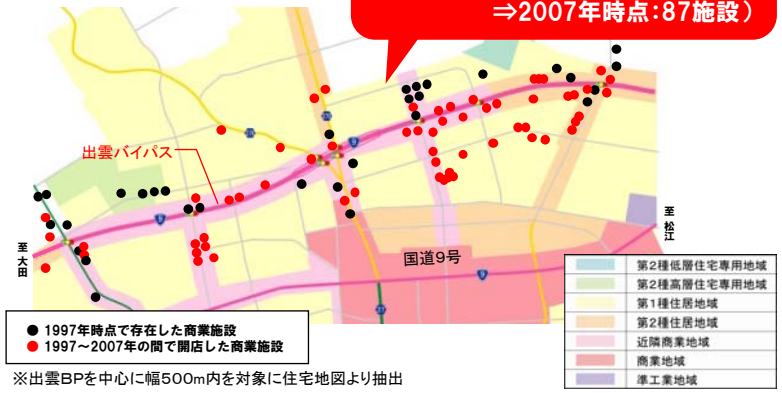
出雲市渡橋町上空より松江方面を望む（いずもし　わたりはしちょう）



●バイパス沿線の商業施設が増加

沿線商業施設の推移

1997～2007年の10年間でバイパス沿線の商業施設数が約2.6倍に急増
（1997年時点:33施設
⇒2007年時点:87施設）

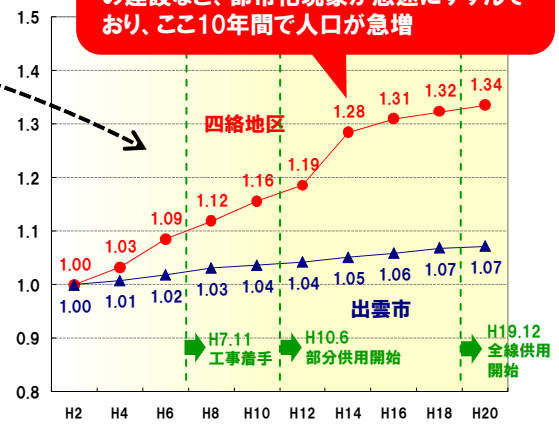


※出雲BPを中心に幅500m内を対象に住宅地図より抽出

●バイパス沿線の人口が増加

四絡地区の人口推移（よつがね）

四絡地区では、県立中央病院や各種大型店舗の進出、バイパス整備、マンション等の建設など、都市化現象が急速にすすんでおり、ここ10年間で人口が急増



※出典:住民基本台帳